

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【公表番号】特表 2010-516935 (P2010-516935A)
【公表日】平成 22 年 5 月 20 日 (2010.5.20)
【年通号数】公開・登録公報 2010-020
【出願番号】特願 2009-545924 (P2009-545924)
【国際特許分類】

F 0 3 D 11/04 (2006.01)

【 F I 】

F 0 3 D 11/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハイブリッド風力タービンタワー（５）の連結装置（８）であって、前記風力タービンタワーはコンクリート部分（７）と金属部分（６）とを具備し、前記連結装置（８）は、前記金属部分（６）を前記コンクリート部分（７）に連結するように構成され、

前記連結装置（８）は、使用状態ではコンクリート部分（７）に隣接するハイブリッド風力タービンタワー（５）の金属部分（６）に固定されるために適し、かつ前記コンクリート部分（７）に少なくとも部分的に埋め込まれるのに適する略チューブ状構造を有する金属ボディ（９）を備え、前記金属ボディ（９）には複数の固定用穴（１１）が配設され、これらの固定用穴は、コンクリート部分（７）の材料がこれらの穴を通り抜けるように構成され、前記金属ボディ（９）は、該金属ボディから突出する複数のプレート（１３）を含むことを特徴とする、連結装置（８）。

【請求項 2】

前記固定用穴（１１）は、金属ボディ（９）のチューブ状壁（１２）に形成される、請求項 1 に記載の連結装置（８）。

【請求項 3】

前記プレート（１３）は、金属ボディ（９）の外側部分に配置される、請求項 2 に記載の連結装置（８）。

【請求項 4】

前記プレート（１３）は、金属ボディ（９）の内側部分に配置される、請求項 3 に記載の連結装置（８）。

【請求項 5】

前記プレート（１３）には、コンクリート部分（７）の材料が通り抜けるように構成された複数の固定用穴（１１）が配設される、請求項 4 に記載の連結装置（８）。

【請求項 6】

前記プレート（１３）の前記複数の固定用穴（１１）のうちの少なくとも幾つかの穴は、円形または楕円形である、請求項 5 に記載の連結装置（８）。

【請求項 7】

前記固定用穴（１１）は液滴形である、請求項 5 に記載の連結装置（８）。

【請求項 8】

前記固定用穴（１１）は、タワー（５）の頂部に向かう方向に小さくなるサイズを有する、請求項６又は７に記載の連結装置（８）。

【請求項 ９】

前記固定用穴（１１）は、タワー（５）の頂部に向かう方向に大きくなるサイズを有する、請求項 ８に記載の連結装置（８）。

【請求項 １０】

前記固定用穴（１１）のうちの少なくとも幾つかの穴は、前記プレート（１３）の端部（１４）から金属ボディ（９）に向かう方向に広がる、請求項９に記載の連結装置（８）。

【請求項 １１】

前記プレート（１３）は、前記金属ボディ（９）とほぼ直交する方向に突出する、請求項１０に記載の連結装置（８）。

【請求項 １２】

前記金属ボディ（９）は円筒形である、請求項１１に記載の連結装置（８）。

【請求項 １３】

前記金属ボディ（９）は円錐台形である、請求項１１に記載の連結装置（８）。

【請求項 １４】

前記金属ボディ（９）は多角形である、請求項１１に記載の連結装置（８）。

【請求項 １５】

少なくとも金属部分（６）及び少なくともコンクリート部分（７）を備えるハイブリッド風力タービンタワー（５）であって、一つの金属部分（６）と一つのコンクリート部分（７）との間に配設される、請求項 １に記載の連結装置（８）を備えることを特徴とする、ハイブリッド風力タービンタワー（５）。